

農林水産業におけるICT導入上の課題

- 農家の加工・販売への進出が求められており、一部農業法人などで成功事例が生まれている。但し小規模農家ではコスト負担が重く、ノウハウも労力もないといった課題が残されている

中～大規模農業法人による成功事例

農作物
加工

南州農場

- 大型ITシステムの導入により、生産/加工/流通までの一貫管理体制を構築
- 生産～加工の一貫体制を構築/ノウハウ取得の為にM&A実施

農作物
直販

神林カントリー農園

- システム投資により、全国4,000名の需要の把握する顧客管理体制を構築
- スーパーやデパートの店内でのデモンストレーションを実施
- 水稻育苗ハウスを利用した野菜直売所を開設

小規模農家
の課題

資金

システム導入、事業投資のための資金調達

ノウハウ

生産・加工・直販の各段階におけるノウハウの確保

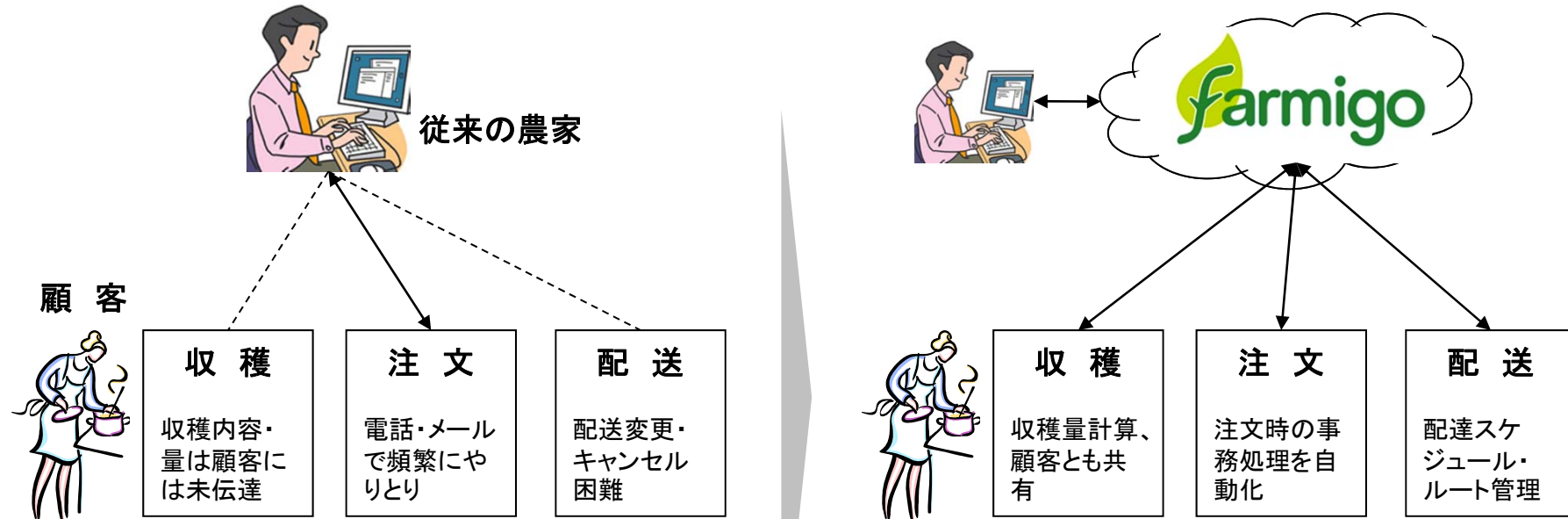
労力

直販ネットワークを築くための事務処理負担

クラウド/ソーシャル技術
による解決事例

クラウド/ソーシャル技術活用事例1 「ファミーゴ」※1

- クラウド型のアプリ利用により、低コストで事務処理時間を短縮。小規模農家でも顧客確保・対応を実現



- ・注文/配送時に膨大な事務作業が発生。平均週30時間とも
- ・顧客側が情報をリアルタイムで取れず、機会損失が継続

- ・顧客管理の時間が50%短縮
- ・顧客の88%が満足度向上※2
- ・月々の使用料は農家収入の2%のみ。初期投資やハード設置管理費用ゼロ。60日間の試用もできる

※1 Famigoは、2009年7月に米国カリフォルニア州にて開発。Google App Engine上でクラウドサービスとして展開。120以上のパートナー農家と提携して開発

※2 顧客へもたらされる利点も多い。ネットで注文、決済、配達の受け取り時間の指定などが可能に。また安値で新鮮で美味しい旬の食材が手に入る。一方、農家は無駄になる作物が減り、安価に大手農業法人に負けない情報管理を達成できる

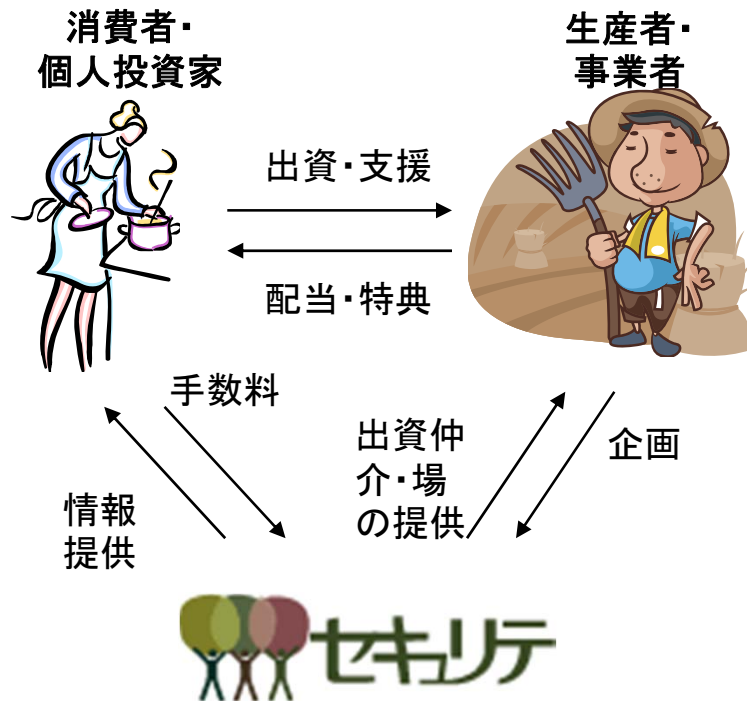
資料: Famigoホームページ <http://www.famigo.com/index.html>、RCF分析

TECH CRUNCH <http://jp.techcrunch.com/archives/jp20101203famigo-connects-farmers-and-consumers-to-the-cloud/>

クラウド/ソーシャル技術活用事例2 「セキュリテ」※

- 哲学をもつ事業者と個人投資家を結ぶ新しい資本市場が「セキュリテ」。農業・林業の分野での新しい取組にマイクロファイナンスが供給されている

セキュリテ概要



セキュリテの運用ファンド事例

ファンド名	西粟倉村共有の森ファンド2010
ファンド営業者	株式会社トビムシ
資金使途	・高性能林業機械の購入費用 ・FSC認証取得費用
ファンド対象事業	・西粟倉村、美作森林組合、(株)トビムシが共同で実施する西粟倉村の森林を対象にした長期森林管理および木材生産に資する施業・販売事業
出資募集総額	・49,400,400円
出資募集単位	<u>1口5万円。上限10口50万円</u>
出資者特典	1.西粟倉村の森の学校施設内に投資者名を記載したプレート設置 2.モデルハウス無料宿泊および温泉入浴券 3.西粟倉村森野村振興公社の施設利用割引 4.西粟倉・森の学校ネットショップ特別割引
取扱手数料	取扱手数料:出資金額の5.25% 運営手数料:出資金額の1%/年

※ セキュリテは、株式会社ミュージックセキュリティーズが運営するコミュニティサイト。2009年より開始
資料:セキュリテ・ホームページ <http://www.securite.jp/>

クラウド/ソーシャル技術活用事例3 「ボクらの農業」※

- 農機具、ノウハウからネットワーキングまでの様々な情報・体験が、ソーシャルネットワーク上で展開



mixi農業コミュニティ

(2011年3月現在)

交換・交流
ユーザーの参加レベル
情報収集

<p>農機具交換 『ボクらの中古農機』</p> <p>農機具交換のフローチャート。ユーザーは「欲しい」農機具を登録し、他のユーザーから「欲しい」農機具を探し、取引が行われます。</p>	<p>コミュニティ『ボクらの農業女子部』</p> <p>コミュニティのスクリーンショット。作業着について話そうぜ!、教えて!ボク農【モバイル投稿用】、あなたの使っている肥料、尻尾のある家族、農業家の皆さまへ、ミニチュア版展示会、コンパニオン&パンカープランツ、1ターンで新規就農、農業して欲しい芸人。</p>
<p>農業資材レビュー『クチコミ商品カタログ』</p> <p>買った人は他にも以下を購入しています。</p> <p>エンジンポンプ 最大社 投げ込みヒーター【単相 アルミコンテナキャリー】 出力: 600/185 L/min 100V-500W 【コンテナ2ヶ用/一輪】 価格: 52,700円 価格: 14,300円 価格: 16,000円</p>	<p>Q&Aサービス『教えて! ボク農』</p> <p>減農薬と言うより、農薬散布ってどこまで減らせるの?。【その他】 2010年06月30日</p> <p>質問: 34</p> <p>回答: 34件</p> <p>2010年07月01日</p> <p>皆さん少な目な方を支持するお答えなのであて! 100リッターどころか200リッター必要です(笑) 私はシラスなんです。自高などの自然災害時には効果的な防除が必要になります。コストもダメージを受けているので効果減速よりさらに薄い濃度で大量に散布する方法をとす。またシラスの場合は、マルチ面や露地も防除対象にしている方もいらっしゃいます。できれば100リッターどうのこうのというのは間違えていると思います。</p> <p>dal-yamato</p> <p>作物のステージ、目的、散布方法、気象条件、また薬剤の種類(特に作用メカニズム)を十分で散布量を決定するのがよいでしょう。</p>

モノ (機具・設備) 対象 コト (ノウハウ・ネットワーク)



家庭菜園『週末農業人』
12,091人



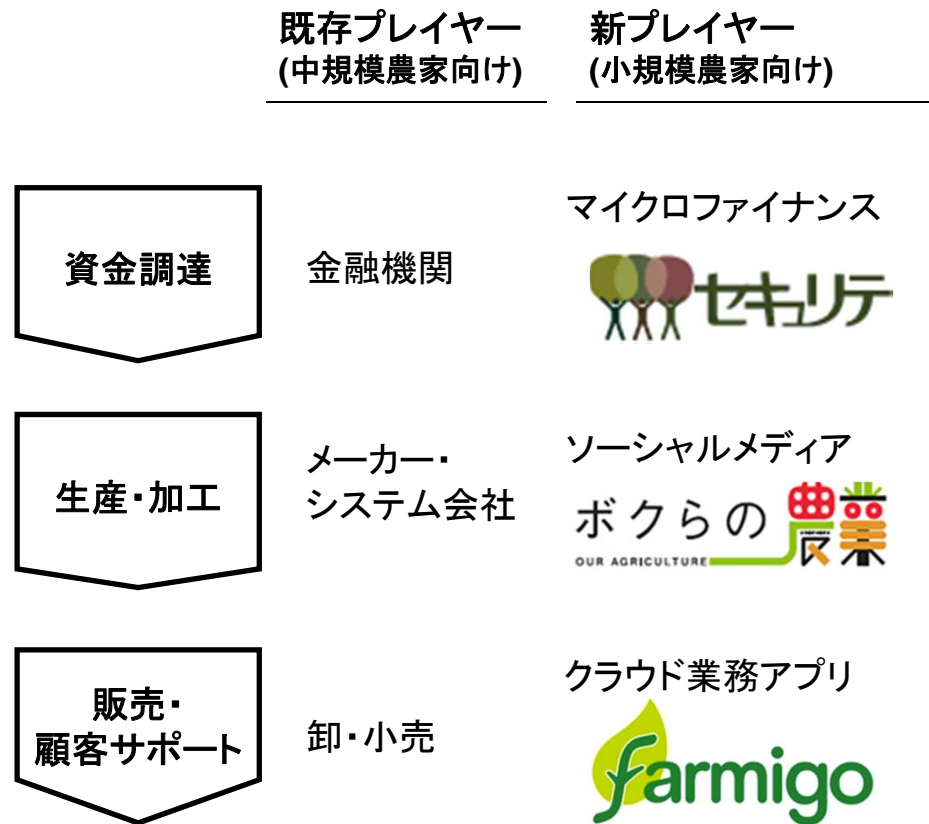
農業やりませんか?
7,521人

※ 2009年3月31日に開設。月間20万PV/訪問者1.7万人/ユニークユーザー1万人。居住地域以外の農業従事者と交流や情報交換を図る事が出来る。中古農機具の交換/中古農機具の売買/農業ノウハウの共有/女性農業従事者などのコミュニティ設置。市場情報・農地情報の共有/若手農業従事者などをピックアップし、特集を組む
 資料: ボクらの農業 <http://www.boku-nou.jp/> BIZ SAMURAI <http://www.biz-samurai.com/release/detail/60016/>、RCF分析

今後のICT施策のあり方

- 国・自治体が生産者・生産物に関するデータを公開し、エンジニアが農家向けのICTサービス/アプリを開発する場づくりを推進できないか

農業の六次産業化に向けた新たな動き



農林水産業に求められるICT施策(仮説)

- 農林水産業の高度化を実現させるためにICT利活用は必須
- 新しいICTサービスも生まれつつあるが、数は少なく利用範囲も限定的
- ICTサービスと、活用する生産者を増やすためにも、生産者・生産物情報のICTエンジニア側への公開・説明が求められる
- 例えば、市町村単位で生産者情報をオープンにし、そのデータを元にエンジニアが新たなICTサービスを開発するコンテストなどを実施できないか
(例 ニューヨーク市の"Big Apps")※

※ 2009年より開始された、米国ニューヨーク市でのアプリケーション作成コンテスト。市は170のデータセットを公開。それを活用してエンジニアはアプリケーションを開発
資料 『海外におけるオープンガバメントの動き』(経済産業省, 2009)